

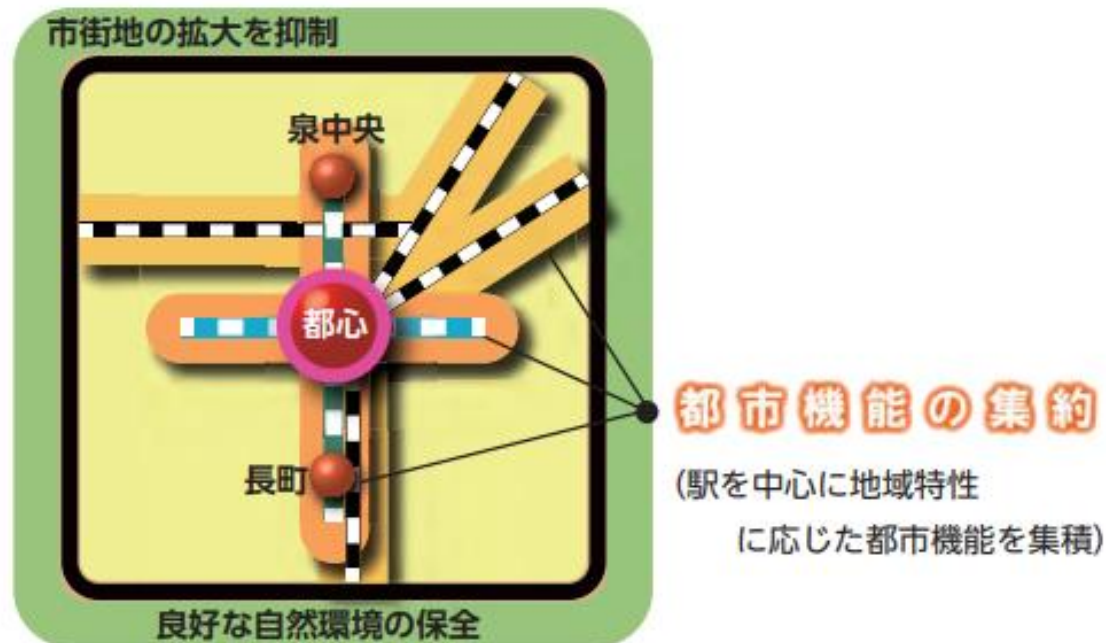
現状の補足

- (1)市関係計画との整合
- (2)パーソントリップ調査

(1)市関係計画との整合

①仙台市基本計画(2021-2030)【令和2年度策定】

- 泉中央地区及び長町地区に「広域拠点」を配置し、都市圏の活動を支え、生活拠点にふさわしい魅力的で個性ある都市機能の集積を図ります。
- 長町地区 土地区画整理事業で生み出された良質な都市基盤や充実した交通結節機能を活かしながら、仙台都市圏南部の生活拠点としてふさわしい多様な都市機能の集積や、新たなまちの賑わいを創出する魅力的で個性のあるまちづくりを進めるとともに、生活利便性を活かした都市型居住の促進を図ります。また、地域や商店街等と連携しながら、地区全体での賑わい向上に取り組みます。



(1)市関係計画との整合

②仙台市都市計画マスタープラン(2021-2030)【令和2年度策定】

- あすと長町地区、旧国道4号沿道地区、太白区役所周辺地区それぞれの地域特性を生かし、各地区の都市機能の連携による一体的な広域拠点の形成を推進します。

③仙台市都市計画マスタープラン地域別構想【令和3年度策定】

■都市づくりのテーマ

「未来とまちを人が繋ぎ、賑わい・暮らしを創造する長町」

あすと長町と、歴史ある商店街を含む個性ある市街地とが連携することで、商業・業務をはじめとした都市機能の集積や交流の拠点となる施設を生かした、広域的な賑わい・魅力を創出するとともに、高い利便性を生かした都市型居住の推進による都市圏南部の拠点を目指します。

- 杜の広場やゼビオアリーナ仙台などの交流の拠点となる施設を生かしつつ、歴史ある商店街を含む長町駅周辺の市街地との繋がりなど、各地区をつなぐ回遊性の向上を図ります。
- 歴史ある長町の商店街は、商業機能と文化機能が連携した賑わいのある、歩いて楽しい歩行者空間や街並みの形成を図ります。

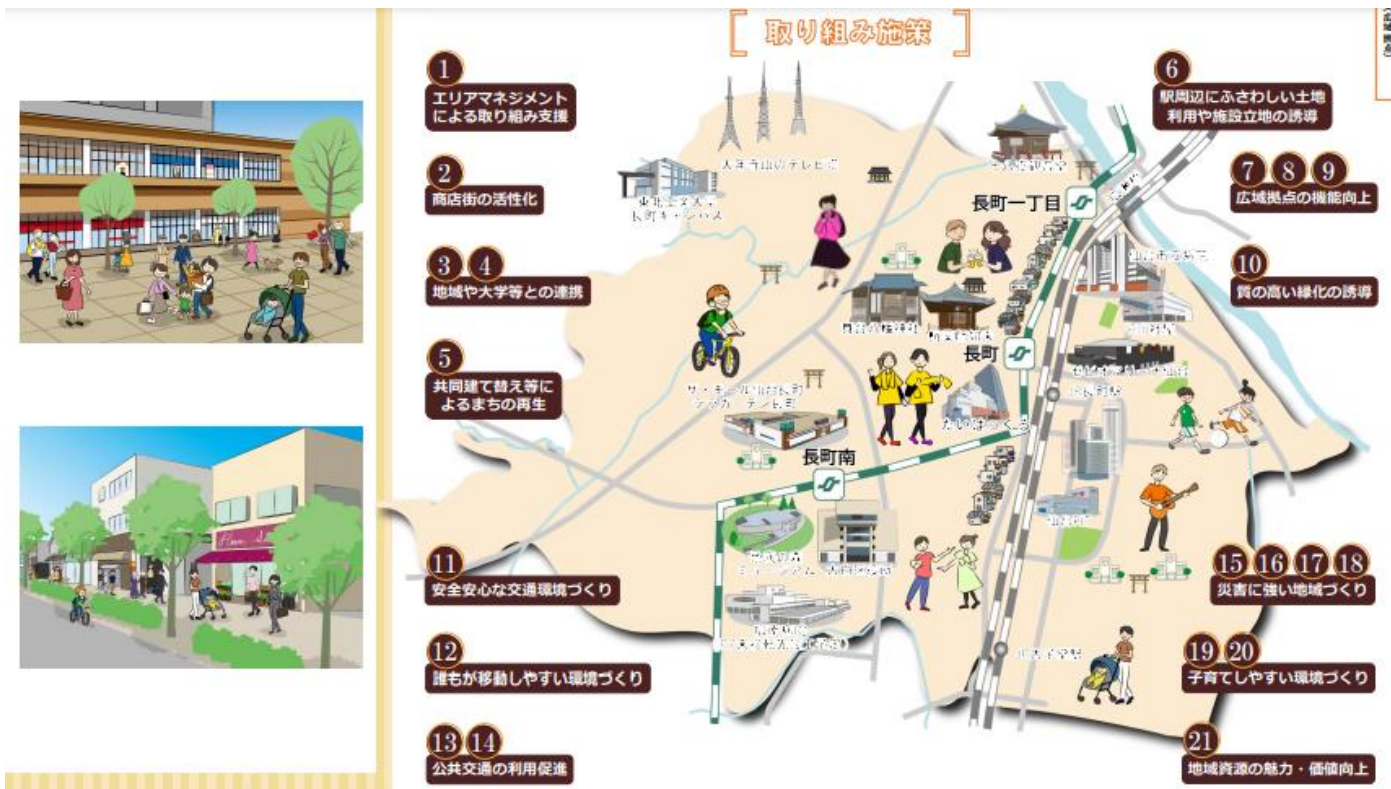
(1)市関係計画との整合

④南北線沿線まちづくりプラン【令和4年度策定】

将来のまちの姿

「街道筋としての歴史と多様な都市機能が結びつき、新たな賑わいが生まれるまち」

- **歴史ある商店街**を含む個性ある市街地について、駅周辺に集積する都市機能や交流の拠点と連携しながら活性化を図っていくことで、互いに高め合い、**新たな賑わいと暮らしが生まれるまちの形成**を目指します。



(1)市関係計画との整合

⑤仙台市地域公共交通計画(2022-2026)【令和4年度策定】

基本方針1「公共交通軸の形成・機能強化」

- 都心や拠点にアクセスできる公共交通軸の設定と強化により、機能集約型の都市づくりを目指す。

基本方針2「路線バスの利便性向上」

- 路線バスの利便性の向上により、持続可能な公共交通のサービスの確保を目指す。

個別施策

- ①バス幹線区間・準幹線区間における利便性向上策の実施
- ②フィーダー区間における利便性向上策の実施
- ③既存鉄道の機能強化



(1)市関係計画との整合

⑥仙台市自転車の安全な利活用推進計画(2021-2025)【令和2年度策定】

基本方針2「自転車を安全・快適に利用できる都市環境の形成」

- 自転車と道路空間を共有する関係にある歩行者や自動車が、安全に安心して通行することができるよう、**地域の状況に応じた自転車通行空間の整備**を進めます。

【長町エリア】



図 4.31 本計画における自転車ネットワーク路線(長町エリア) ※整備状況は令和2年度末時点

(2)パーソントリップ調査

第5回 仙台都市圏パーソントリップ調査(H29調査)

パーソントリップ調査とは

平日や休日に「どのような人が」、「いつ」、「どこからどこへ」、「どのような目的で」、「どのような交通手段で」移動しているのかを調査するもの。

調査の概要

調査は、ある1日の人の移動実態を把握するためのアンケート調査

調査方法： 郵送配付、郵送回収またはWEB回答

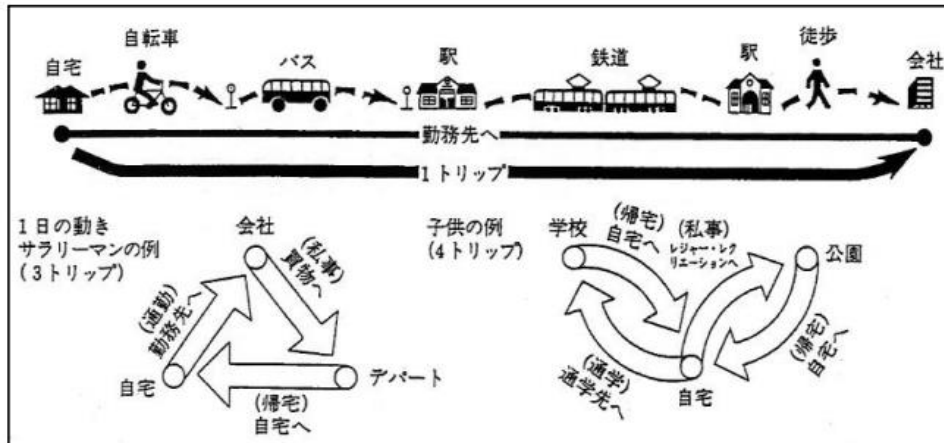
調査期間： 2017年(H29)10、11月

有効標本率:3.28%(2.4万世帯、5.1万人より回答)

調査対象区域



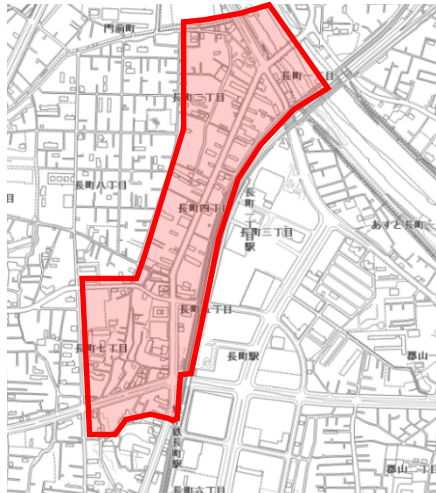
【図1】調査対象圏域



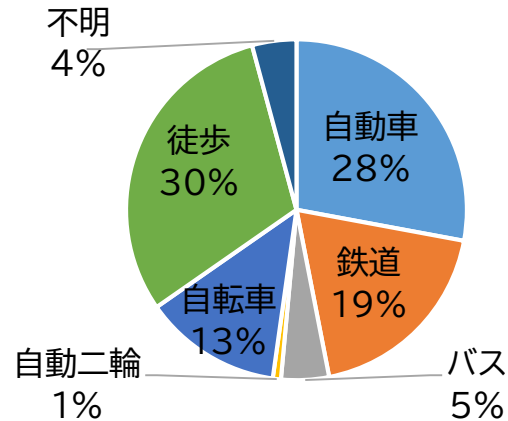
(2) パーソントリップ調査

【手段別】

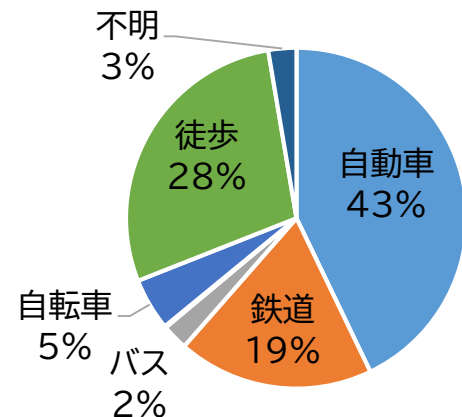
(長町商店街エリア)



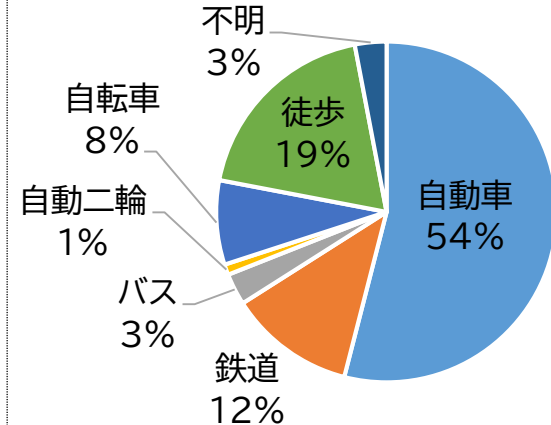
(平日)長町商店街エリア



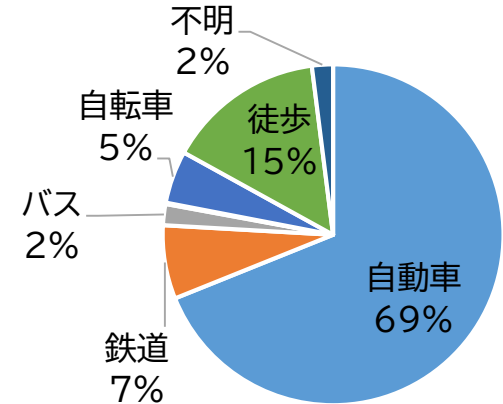
(休日)長町商店街エリア



(平日)仙台都市圏全体



(休日)仙台都市圏全体

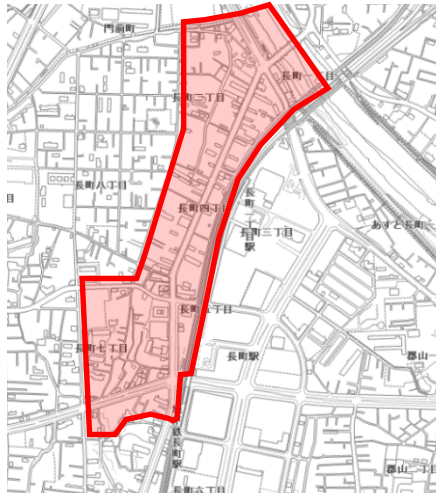


- 長町商店街エリアは交通利便性が高いため、仙台都市圏全体と比べて、平日・休日ともに自動車の割合が低く、鉄道・自転車・徒歩などの割合が高い。
- 長町商店街エリアの休日は、平日に比べて自転車とバスの割合が低くなっており、通勤・通学で自転車・バスを利用している人が多いと考えられる。

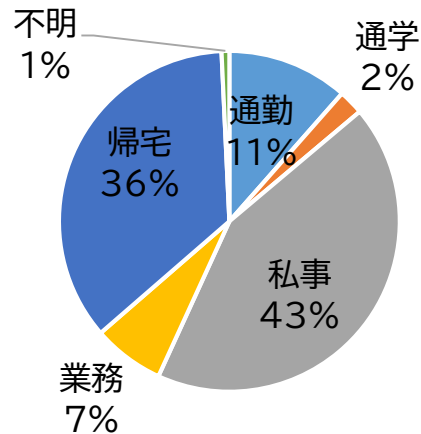
(2) パーソントリップ調査

【目的別】

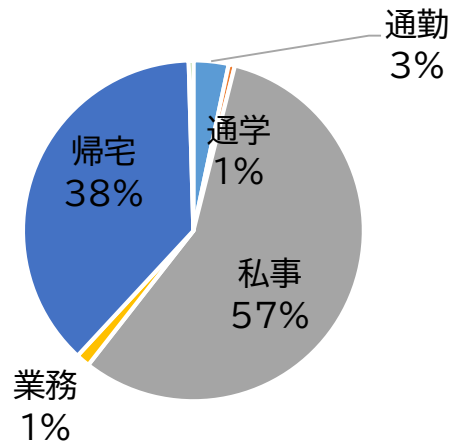
(長町商店街エリア)



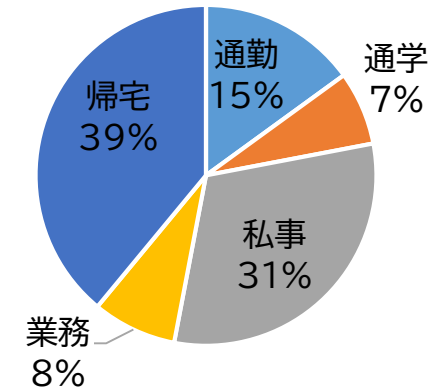
(平日)長町商店街エリア



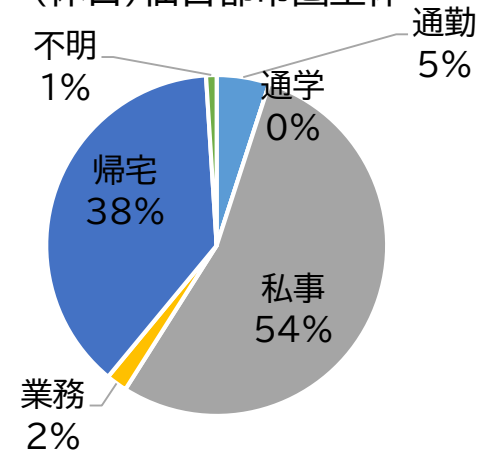
(休日)長町商店街エリア



(平日)仙台都市圏全体



(休日)仙台都市圏全体

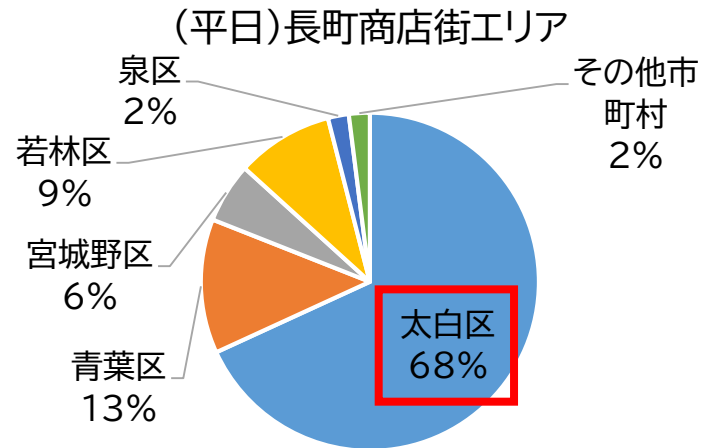
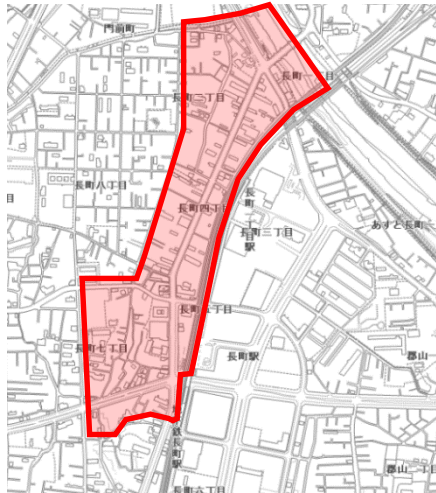


- 長町商店街エリアは商店や病院等が多いため、仙台都市圏全体と比べて、平日は私事(買い物・通院など)の割合が高いと考えられる。

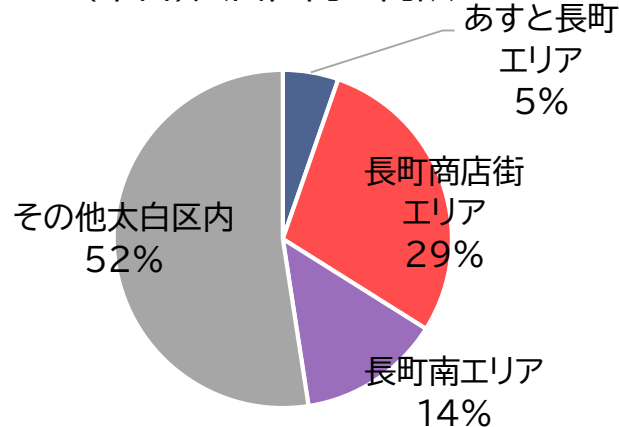
(2) パーソントリップ調査

【地域別】

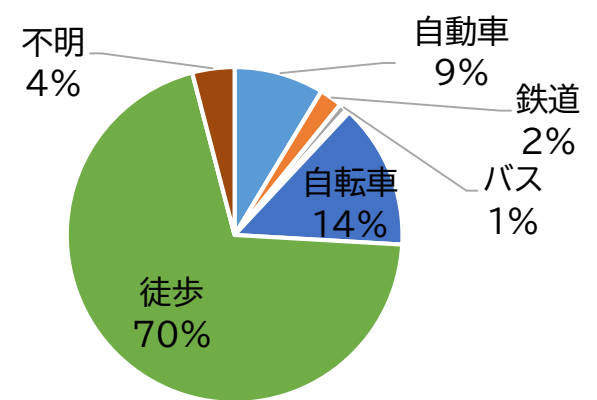
(長町商店街エリア)



(平日)太白区内の内訳



(平日)3エリアの移動手段



※H29調査のため「あすと長町エリア」の割合が少ない

- 長町商店街エリアに移動している人(発着)は、7割が太白区内の人であり、その中でも約半数が近隣のエリアからの移動である。
- 近隣のエリアの人々の移動手段は、徒歩が約7割であるため、徒歩移動者の回遊性を促進させる取組みが重要であると考えられる。